

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/05/27号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## 調整売り優勢に、米金利上昇・ドル高を嫌気

NY原油先物相場は、1バレル=70ドル台後半でやや上値の重い展開になった。週明け5月20日の取引で80.11ドルまで上昇したが、その後は調整売り優勢の展開になった。原油需給環境には特段の新規売買材料が見当たらなかったが、米金利上昇・ドル高圧力が強まったことが嫌気された。米国の早期利下げ期待が再燃していたが、米金融当局者からは利下げに慎重な発言が相次いでおり、高金利政策の長期化に対する警戒感が、米金利上昇・ドル高経由で原油相場の上値を圧迫した。コモディティ市場全体で調整売りを進める動きが目立った。2月26日以来となる約3か月ぶりの安値を更新した。

中東情勢は引き続き緊迫化しているが、原油相場に対する影響は限定されている。イランでライシ大統領などの搭乗していたヘリコプターが墜落し、大統領は死亡した。イランの内政・外交を巡る不確実性が高まるも、原油相場に対する影響は軽微だった。ヘリコプター墜落は内外勢力の攻撃ではなく、事故とみられている。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (5月17日時点) は、原油が前週183万バレル増、ガソリンが95万バレル減、石油精製品が38万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## ドル高鈍化だと下値固める、ドライブシーズンに突入する

70ドル台後半でボックス気味の展開が続く中、改めて下値を固める展開になろう。前週は米金利上昇・ドル高が原油相場の上値を圧迫したが、早期利下げ期待は既に大幅に後退しており、米金利・ドルの値動きが抑制されれば原油相場の下値は固まりやすくなる。5月31日に発表される4月米PCEデフレータは、6月以降の相場環境を占う上でも重要。

一方、5月25～27日のメモリアルデーの連休を経て、米国は本格的なドライブシーズンに突入する。今季は自動車を使った行楽需要は堅調とみられており、季節的な需要拡大期待が織り込まれると、改めて80ドルの節目を意識した展開になろう。特に米原油、ガソリン在庫の減少が確認されると、買い安心感が強まりやすくなる。改めて需給ひっ迫見通しを織り込む動きが見られるのか、連休明け後の市場環境の変化の有無にも注目したい。

一方、週末の6月2日には石油輸出国機構（OPEC）プラス会合が開催される。当初は1日の開催が予定されていたが、延期された。また、対面ではなくリモートの協議になることも明らかにされた。同会合では7～9月期の産油政策について協議が行われる見通しになっている。

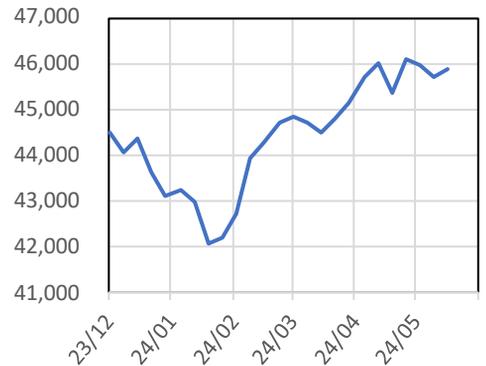
現行の日量220万バレル規模の自主減産を延長する可能性が高いとみられているが、実際に減産継続との見方を強化するような動きが見られると買い安心感が強まる。逆に、OPECプラス参加国から減産延長に反対の声が聞かれるような事態になると、75ドル割れを試すリスクも高まろう。OPECプラスが減産を延長すれば需給ひっ迫、減産規模の縮小や減産停止だと需給緩和が基本見通しになる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



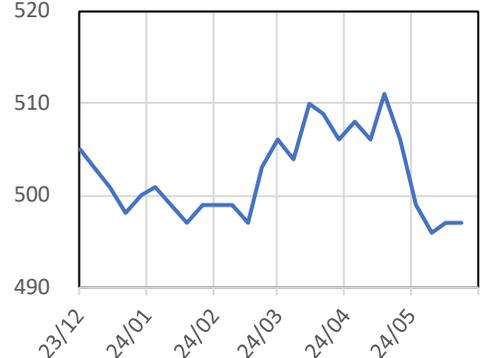
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

